

講習の名称：進路指導及びキャリア教育

担当講師：山口 陽弘（大学院教育学研究科教授）

講習開講日：令和 2 年 8 月 20 日（木）

時間数：6 時間

主な受講対象者：幼稚園，小学校教諭，中学校，高等学校教諭，特別支援学校
特に職業指導の基礎知識を得たい方に。

キーワード：キャリア形成，校内研修，職業教育

講習の概要：

特に小中高生を指導していらっしゃる先生方は、キャリア教育（職業指導）に悩んでおられることと思います。そのために必要な基礎知識（意識改革）が何なのかを一緒に考えていきます。実際の受講者数やそのニーズにもよりますが、できるだけ受講生のニーズを拾って、討論や発表、場合によってはロールプレイなどを通じて、一緒に考えてみたいと思います。キャリア教育に完全な解答があると期待せずに、考え方を学んでもらうことがこの授業の教育目標です。

本講習では、近年大きく変化している大学卒業後の就職活動の状況、および民間企業・公務員などのキャリア発達の変化状況を紹介し、特に小中高の教師が、どのようなキャリア教育をなすべきであるのかを、解説する。受講者の人数にもよるが、可能であれば、ロールプレイや面接などの実技的なものも取り入れて、集団討論なども行ってみたい。

講習の展開：

- 第 1 時限 現在のキャリア教育・特に過去のキャリア教育と何が異なるか
＜特に講演者自身のキャリア形成を踏まえつつ＞
- 第 2 時限 児童・生徒・さらには今の大学生が持っているキャリア形成観
- 第 3 時限 個別発表・班別討論
- 第 4 時限 講師によるコメント・まとめ

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：受講者ご自身の過去のキャリア形成について想起しておいていただけますよう、お願いします。そのきっかけとして、講演者自身のキャリア形成を振り返っていきます。その上で、受講者ご自身が教える際にどのようなキャリア教育を行ったかを個別に発表していただく機会をできるだけ設定しますので、積極的に発言してください。質問でも構いません。以下に紹介する本を少し調べて頂くと少し深い議論ができます。

授業の形式：講義および、討論・発表。ただし、数が非常に多い場合には、討論ができないこともあります。ここ数年受講希望者が大量なので、大講義形式で終始してしまうことがあったことを、あらかじめ申し上げておきます。

履修認定試験：まとめとなる論述形式の筆記試験を課します（ノート・配布資料の持込可）。

参考図書：玄田有史『増補改訂 14 歳からの仕事道』イーストプレス→この本を過去においてはテキストとして指定していましたが，絶版で入手が困難なようです。

したがって，比較的入手しやすい新井紀子『AI に負けない子どもを育てる』東洋経済新報社を参考図書として勧めておきます。